

PL-HD240

取扱説明書

PL-HD240 (HDD ユニット) は(株)デジタル製パネルコンピュータ (以下 PL と称します) 用のハードディスクユニットです。2.5 型 40G バイトハードディスクを搭載しています。

対応機種 : PL-X930 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Pro-face : (株)デジタル

MS-DOS, Windows : 米国 Microsoft 社

安全に関する使用上の注意



- PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- PL-HD240 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- PL-HD240 を取り付ける際には、本書の「3.PL-HD240 の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

- PL-HD240 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶついたりしないでください。また、操作盤等に、PL-HD240 を搭載した PL を取り付けた状態での輸送は絶対におやめください。
- PL-HD240 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- 修理や改造を行わないでください。

- ・ PL-HD240を組み込んだシステムの通電中の持ち運びは絶対におやめください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。ハードディスク本体が破損します。
- ・ データ破壊を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。
- ・ メモリリークを防ぐために、定期的にOSを再起動してください。
- ・ ハードディスクには寿命があります。より長く、安定した動作でご使用いただくために、付属の「ハードディスク使用上の注意」をよく読んでご使用ください。
- ・ ハードディスクの寿命を延ばすため、非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定してください。5分後を推奨します。
Windows®2000 の場合、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]で設定します。Windows®XP の場合、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]で設定します。

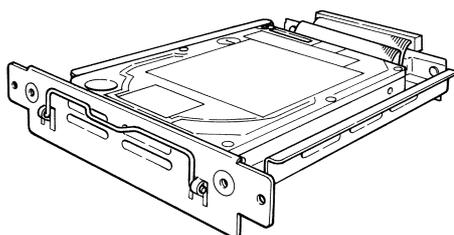
廃棄時の注意事項

- ・ 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

梱包内容

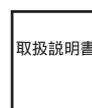
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-HD240本体



取扱説明書 1枚（本書）

PL-HD240 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

性能仕様

総記憶容量	40Gバイト
平均シーク時間	12msec (TYP)
消費電力	起動時 4.5W (TYP)
	R/W時 1.6/1.6W (TYP)
	待機時 0.2W (TYP)
インターフェイス	PATA
寿命	5年間または20,000時間(通電時間)のいずれか早い到達期限まで
質量	約250g

- 重要**
- ・ HDD ユニットには、寿命があります。万一のHDD ユニットの故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用HDD ユニットの用意をお勧めします。
 - ・ HDD ユニットの寿命は使用条件や環境により前後しますが、目安として周囲温度 20℃、通電時間(モータ ON 時間)が 333 時間 / 月(アクセス時間は 20% 以下)での参考値です。

環境仕様

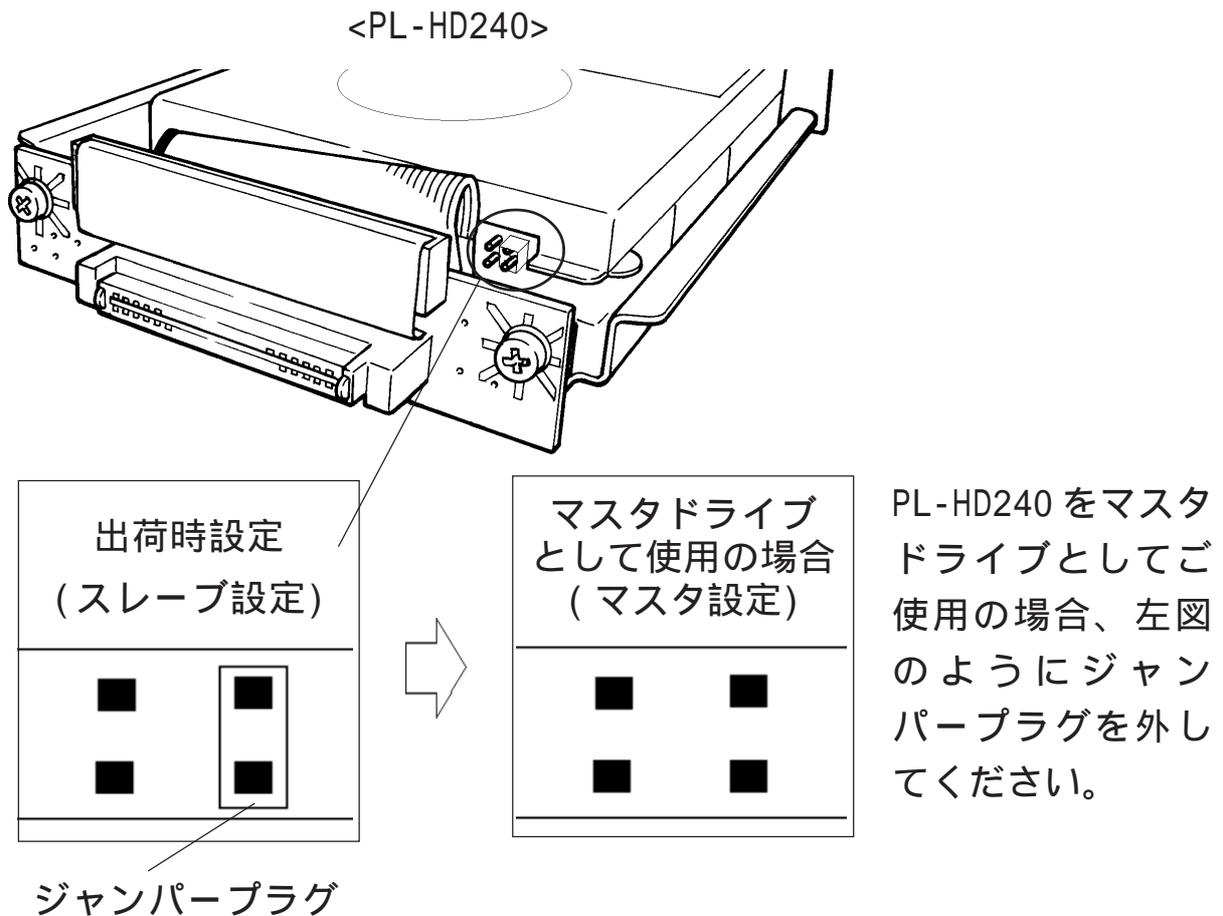
使用周囲温度	5 ~ 50
保存周囲温度	-10 ~ +60
周囲湿度	10 ~ 85%RH (結露のないこと、最大湿球温度 29℃ 以下)
耐ノイズ性 (ノイズシミュレータによる)	ノイズ電圧 : 1500Vp-p
	パルス幅 : 50ns、500ns、1μs
耐静電気放電	4kV
耐振動性	動作時 4.9m/s ² (10 ~ 25Hz)
耐衝撃性	輸送時 3920m/s ² (1ms、正弦半波)

- 重要**
- ・ 環境仕様は PL に組み込んだ場合の仕様です。
 - ・ ハードディスクは寿命部品です。性能仕様の寿命データをご配慮の上、保守、メンテナンスを計画的に実施していただきますようお願いいたします。
 - ・ ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度 29℃ 以下での使用を推奨します。この条件は、例えば気温 35℃ で湿度 64%RH、40℃ で 44%RH 程度に相当します。

2 ハードディスクユニットの設定

本ユニット(PL-HD240)はPLのオプション品です。出荷時にはスレーブ(2台目のハードディスク)として設定されています。出荷時に、PL-X930シリーズに組み込まれたPL-HD240は、すべてマスタ(1台目のハードディスク)として設定されています。

- 重要**
- ・ PL-X930シリーズでは本ユニット(PL-HD240)をマスタとして設定してからご使用ください。
 - ・ (株)デジタル製CD-ROMドライブユニット「PSS-CD01」とPL-X930シリーズの拡張スロット1に取り付けた本ユニット(PL-HD240)を併用する場合、必ず本ユニットをマスタとして設定してください。故障の原因になります。
 - ・ 以下のジャンパープラグの設定以外では使用しないでください。破損の原因となります。



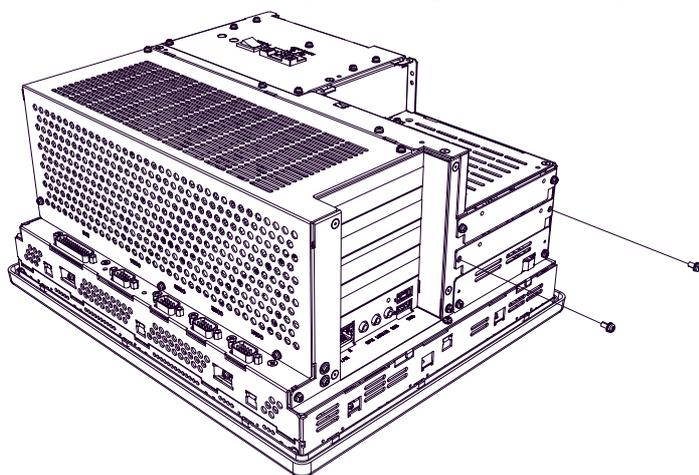
3 PL-HD240 の着脱

以下の方法で PL-HD240 を PL へ取り付けてください。

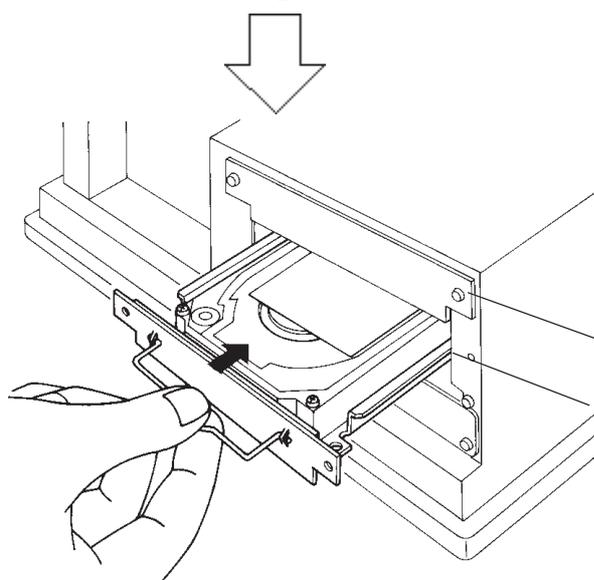
警告

- ・ 感電の恐れがありますので、必ず PL の電源を切ってから作業を行ってください。
- ・ PL-X930 シリーズでは、画面表示が消えていても内部は通電状態（ソフト OFF 状態¹など）になっている可能性がありますので、必ず PL 背面の電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

重要 ・ PL-HD240 は衝撃に弱い精密機器ですので、取り付け・取り外しの際は衝撃を与えないよう十分ご注意ください。



「拡張スロット0」のネジ(2カ所)を外し、カバーを取り外します。



PL-HD240 の取手を持ち、ガイドレールに沿うように PL に挿入し、コネクタが完全に接続されるよう差し込みます。

拡張スロット 1

拡張スロット 0

ネジ(2カ所)で固定します。



MEMO ・ 「拡張スロット1」への取り付けも、同様の手順で行います。

¹ソフトOFF状態とは、システムの起動のために必要な回路にのみ電源が供給されている状態のことを指し、Windows®によるシャットダウンを行った後の状態です。Windows®で設定するシステムスタンバイとは異なります。

4 ハードウェアセットアップ

- 重要** ・ 通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。
・ BIOS 画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。



- ・ 以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON してすぐに[F2]キーを押し続けると、セットアップユーティリティが起動します。

PL-HD240 の取り付け位置(拡張スロット 0 または 1)によって、表示される[Main]メニューの項目は以下のようになります。

- ・ 拡張スロット 0 に取り付けた場合 : [Primary Master]
- ・ 拡張スロット 1 に取り付けた場合 : [Secondary Master]

上記の項目名にカーソルをあわせて[Enter]キーを押すと、以下の画面が表示されます。

- 重要** ・ PL-HD240 はマスタとしてご使用ください。詳しくは、本書「2. ハードディスクユニットの設定」をご覧ください。

PhoenixBIOS Setup - Copyright 1985-2001 Phoenix Technologies Ltd.	
Main	
Type: [Auto]	Item Specific Help
Total Sectors: Maximum Capacity:	User = you enter Parameters of hard-disk drive installed at this connection. Auto = autotypes hard-disk drive installed here. 1-39 = you select pre-determined type of hard-disk drive installed here. CD-ROM = a CD-ROM drive is installed here. ATAPI Removable = removable disk drive is installed here.
Multi-Sector Transfer: [16 Sectors]	
LBA Mode Control: [Enabled]	
32 Bit I/O: [Disabled]	
Transfer Mode: [FPIO 4 / DMA 2]	
Ultra DMA Mode: [Mode 5]	
F1 Help	Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
Esc Exit	Select Menu Enter Select Sub-Menu F10 Previous Values

[Type] に [Auto] が選択されているか確認します。
(出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用
ください。)

[ESC]キーを押して前画面に戻ります。[Exit]メニューを選択し、
[Exit Saving Changes]にカーソルをあわせて[Enter]キーを
押します。システム設定が保存され、OS が起動します。

5 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にハードディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステムでパーティション（記録区画）の作成とフォーマット（初期化）が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害およびその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL：（06）6613-1101（代）

FAX：（06）6613-5888

URL：<http://www.proface.co.jp/>